

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第2区分

【発行日】平成18年6月15日(2006.6.15)

【公開番号】特開2005-46305(P2005-46305A)

【公開日】平成17年2月24日(2005.2.24)

【年通号数】公開・登録公報2005-008

【出願番号】特願2003-280818(P2003-280818)

【国際特許分類】

A 6 1 B 5/16 (2006.01)

A 6 1 B 5/00 (2006.01)

G 0 1 N 33/50 (2006.01)

G 0 1 N 33/543 (2006.01)

G 0 6 F 3/01 (2006.01)

A 6 1 B 5/026 (2006.01)

【F I】

A 6 1 B 5/16 3 0 0 A

A 6 1 B 5/00 N

G 0 1 N 33/50 Q

G 0 1 N 33/50 X

G 0 1 N 33/543 5 9 5

G 0 6 F 3/00 6 8 0 B

A 6 1 B 5/02 3 4 0 D

【手続補正書】

【提出日】平成18年4月28日(2006.4.28)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

使用者の生体情報を検出する1つまたは複数のセンサと、
上記センサにより検出される生体情報に基づいて所定の情報処理を行う情報処理手段と

、
上記情報処理の結果を出力する出力手段とを有する
ことを特徴とする会話補助装置。

【請求項2】

上記出力手段の出力に基づいて上記使用者が自身の状態を制御することを補助することを特徴とする請求項1記載の会話補助装置。

【請求項3】

上記生体情報は感情情報であることを特徴とする請求項1記載の会話補助装置。

【請求項4】

上記センサの1つとして、使用者の皮膚表面からの分泌物を計測するセンサを用いることを特徴とする請求項1記載の会話補助装置。

【請求項5】

上記センサの1つとして、対象物が検出部に結合したときのこの検出部の性質の変化を測定するセンサであって、上記検出部の空間的構造を用いて、上記対象物の存在・非存在または分布の情報を含む複数の情報を抽出するものを用いることを特徴とする請求項1記

載の会話補助装置。

【請求項 6】

上記空間的構造は上記検出部の幾何学的構造であることを特徴とする請求項 5 記載の会話補助装置。

【請求項 7】

上記検出部は複数の対象物がそれぞれ選択的に結合する複数の結合部位を有することを特徴とする請求項 5 記載の会話補助装置。

【請求項 8】

上記対象物の上記検出部への結合による上記検出部の物理的性質または構造の変化を測定することにより上記情報を抽出することを特徴とする請求項 5 記載の会話補助装置。

【請求項 9】

上記センサの 1 つとして、使用者の脳の血流を計測するセンサを用いることを特徴とする請求項 1 記載の会話補助装置。

【請求項 10】

上記出力手段は 1 つまたは複数の効果器であることを特徴とする請求項 1 記載の会話補助装置。

【請求項 11】

上記効果器の 1 つとして、上記センサにより測定した感情を文字情報により使用者に伝達する装置を用いることを特徴とする請求項 10 記載の会話補助装置。

【請求項 12】

上記効果器の 1 つとして、上記センサにより測定した感情を振動情報により使用者に伝達する装置を用いることを特徴とする請求項 10 記載の会話補助装置。

【請求項 13】

使用者の生体情報を検出する 1 つまたは複数のセンサと、

上記センサにより検出される生体情報に基づいて所定の情報処理を行う情報処理手段と

上記情報処理の結果を出力する出力手段とを有することを特徴とする会話補助システム。

【請求項 14】

使用者の生体情報を 1 つまたは複数のセンサにより検出するステップと、

上記センサにより検出される生体情報に基づいて所定の情報処理を行うステップと、

上記情報処理の結果を出力するステップとを有する

ことを特徴とする会話補助方法。

【請求項 15】

使用者の生体情報を検出する 1 つまたは複数のセンサと、

上記センサにより検出される生体情報に基づいて所定の情報処理を行う情報処理手段と

上記情報処理の結果に基づいて上記使用者の状態を制御する制御手段とを有することを特徴とする会話補助装置。

【請求項 16】

使用者の生体情報を検出する 1 つまたは複数のセンサと、

上記センサにより検出される生体情報に基づいて所定の情報処理を行う情報処理手段と

上記情報処理の結果に基づいて上記使用者の状態を制御する制御手段とを有することを特徴とする会話補助システム。

【請求項 17】

使用者の生体情報を 1 つまたは複数のセンサにより検出するステップと、

上記センサにより検出される生体情報に基づいて所定の情報処理を行うステップと、

上記情報処理の結果に基づいて上記使用者の状態を制御するステップとを有する

ことを特徴とする会話補助方法。

【請求項 18】

生物の生体情報を検出する1つまたは複数のセンサと、
上記センサにより検出される生体情報に基づいて所定の情報処理を行う情報処理手段と

、

上記情報処理の結果を出力する出力手段とを有する
ことを特徴とする情報伝達装置。

【請求項 19】

生物の生体情報を検出する1つまたは複数のセンサと、
上記センサにより検出される生体情報に基づいて所定の情報処理を行う情報処理手段と

、

上記情報処理の結果を出力する出力手段とを有する
ことを特徴とする情報伝達システム。

【請求項 20】

生物の生体情報を1つまたは複数のセンサにより検出するステップと、
上記センサにより検出される生体情報に基づいて所定の情報処理を行うステップと、
上記情報処理の結果を出力するステップとを有する
ことを特徴とする情報伝達方法。

【請求項 21】

生物の生体情報を検出する1つまたは複数のセンサと、
上記センサにより検出される生体情報に基づいて所定の情報処理を行う情報処理手段と

、

上記情報処理の結果に基づいて上記生物の状態を制御する制御手段とを有する
ことを特徴とする制御装置。

【請求項 22】

生物の生体情報を検出する1つまたは複数のセンサと、
上記センサにより検出される生体情報に基づいて所定の情報処理を行う情報処理手段と

、

上記情報処理の結果に基づいて上記生物の状態を制御する制御手段とを有する
ことを特徴とする制御システム。

【請求項 23】

生物の生体情報を1つまたは複数のセンサにより検出するステップと、
上記センサにより検出される生体情報に基づいて所定の情報処理を行うステップと、
上記情報処理の結果に基づいて上記生物の状態を制御するステップとを有する
ことを特徴とする制御方法。